

たから

財っ子通信

～たくましく なかよく かしく～

令和元年7月17日

日向市立財光寺小学校学校通信 第4号

文責：校長 黒木 将人

「命を守る集会」と「命の授業」

7月2日(火)には、全校で集会を開き、12年前の8月に日向の海で中学生を助けようとして、亡くなったインドネシアの漁業研修生エンダンさんの話をしました。泳ぎが得意でなかったエンダンさんが、荒れた海に飛び込んで中学生を助けようとした気持ちを考え、自分たちの命を大切にすることを全校で誓いました。最後に生活委員会の子供たちが「火・水・車・人・校区外」の合言葉の確認をしました。

翌7月3日(水)には、2年生が、みやざき動物愛護センターの方による「命の授業」を受けました。動物の話を聞いたり、聴診器で自分の心臓の音を確認したりして、改めて命の大切さについて考えることができました。

6月から7月にかけての本校は「命を守る」ことについて考える期間でした。集会や授業とともに、日頃の交通安全や不審者、大雨の対応の指導を繰り返しました。ご家庭でのご指導もよろしくお願い致します。



【生活委員会児童の呼びかけ】

夏休みの安全指導について

7月15日(月)に市内の河川で悲しい水難事故が起きました。本当に残念です。本校でもあらためて子供たちに水に関する安全指導を行いました。

- ①子どもだけでは絶対に水辺には行かない。
- ②側溝や用水路にも近づかない。
- ③体調が悪い時や疲れている時は泳がない。

子どもの水の事故の起こりやすい場所は、河川、海ですが、湖沼池や用水路、プールでも起こっています。泳ぐときだけではなく、磯遊びや釣りでも起こり得るので保護者同伴でも、水辺で遊ぶ場合はライフジャケット等の着用をお勧めします。小さな側溝で溺れた事例もあります。どこに危険が潜んでいるか、各家庭でも近くの塩見川や用水路等の場所を例に具体的に話し合ってみてください。夏休みを迎えるにあたってよろしくお願い致します。

これからも学校と家庭が一体となって！
「良いことは褒め、悪いことは叱る」

保護者の皆様のご協力により、充実した1学期も終了に近づいています。校長としての感想は「財小の子供達は素直でやさしい！」です。子供たちの頑張る姿に、優しい言葉に元気づけられた日々でした。

でも、子供ですから、いろんなことがあります。時にはいけないこともしてしまいます。成長過程の人間ですから、そんなことは当然あり得ます。大切なのは、その時に「悪いことは悪い」と叱ることです。そして見届ける事です。学校では、良いことは褒め、悪いことはきちんと叱りながら育てています。子供達をまっすぐに育てたい一心です。

教育には学校と家庭の協力がが必要です。これからも保護者の皆様に、ご理解を求めることがあります。一体となっても頑張りましょう！



夏休みの学校閉庁期間

8/10(土)～8/18(日)

この期間は学校は不在になります。

電話対応は市教育委員会(66-1037)です。

財小のたから ～その4～

～ 一生懸命 ～

財光寺小の財(たから)に、子供達の一生涯懸命なひたむきさがあります。

★1年生・・・

毎朝、朝顔のお世話を欠かしませんでした。「ほら、大きくなったよ！」と報告してくれます。花の気持ちになると、頼もしく優しい1年生です。夏休みも一生懸命お世話してくれることでしょう。



★2年生・・・

7月1日(月)に町探検に出かけました。一生懸命に話を聞き、メモを取っていました。帰りはたまたま激しい雨に。でも、最後まできちんと並び、注意を守って帰りました。少々のことでは動じない2年生です。

